

NEWTPIA

N.145

2025 10.15

新しい(NEW)理想郷(UTOPIA)

連載

だんぶり

外国人のための

インフォメーションセンターへ

- 世界の人々がはちまき、はっぴで大変身！
- 51の国の人々、420人がやってきた！

連載

English Open Café

ナイジェリア、ジンバブエ、アメリカ合衆国

連載

世界の民族衣装

インド編

防災体験と四天王寺骨董市ツアー

- 地球どんぶり

バングラデシュとエジプトからの訪問者

- ホームビジット

にゅとぴあ岸和田

岸和田市国際親善協会だより

INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION OF KISHIWADA

ゆかたをきて、
夏まつりにいきましょう。

久米田池夏まつり



Since 1989

にゅとぴあ
岸和田市国際親善協会

「メアリー」

表紙デザイン Shinako Abue

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通して互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



ようこそ！

だんじり インフォメーションセンターへ

世界の国々から

だんじり祭りを世界に広げよう！

岸和田に訪れる外国人観光客の皆さんに岸和田だんじり祭りを案内する「だんじりインフォメーションセンター」を今年も開催しました。2日間の開催で、当センターへ来訪された人数は**昨年の約1.5倍 51カ国 420人！**多くの外国の方々に賑わいました。

日本ブーム到来か!?



自前の浴衣姿で登場したイケメン達



Happy はっぴ&はちまき de 変身! Making of

会員の皆さんに手伝ってもらって、キレイにできました!!

ハチマキ
似合うでしょ!



脱げないよー!!
(+o+)



佐野市長も
来てくださ
いました

市長と記念撮影

岸和田市が最も沸き立つ
岸和田だんじり祭りで、公務
に忙しい中、佐野市長がお
越しになりました。

外国の人たちと気さくに
記念撮影！一緒に写った人
たちはとても喜んでいました。



佐野 英利
(さの ひでとし)
岸和田市長

記念撮影も、みんなノリノリです！



スタッフも市長と記念写真！



だんじりインフォメーション
センター大盛況！

駅前の誘導看板
見てくださいました！



今年もTVが取材にやってきた

2025年 だんじりインフォメーションセンター来訪者(署名者)

国 名	13日	14日	合計
USA	33	18	51
オーストラリア	11	10	21
UK	14	7	21
スペイン	9	10	19
フランス	16	16	32
ドイツ	16	15	31
中 国	5		5
台 湾	14	10	24
香 港	11	3	14
韓 国	3		3
ベトナム	3	1	4
インドネシア	4	6	10
シンガポール	11	3	14
フィリピン	10		10
タ イ	3		3
カナダ	8	12	20
チェコ	5		5
イタリア	1	6	7

国 名	13日	14日	合計
スイス	8	4	12
オランダ	5	20	25
オーストリア	8		8
ポーランド	2	4	6
イスラエル	4	7	11
エクアドル	1		1
ベルギー	2	3	5
ギリシャ	1		1
スウェーデン	1	1	2
フィンランド	4		4
デンマーク	4	1	5
ニュージーランド	2		2
ブラジル	2	4	6
メキシコ	1	1	2
コロンビア	2		2
ペルー	1		1
プエルトリコ	1		1
タヒチ	2		2

国 名	13日	14日	合計
シリア	1		1
リトアニア	3		3
チ リ		2	2
モルドバ		1	1
ノルウェー		1	1
トルコ		1	1
ポルトガル		5	5
ハンガリー		2	2
ロシア		4	4
インド		5	5
ネパール		1	1
ガーナ		1	1
エリトリア		1	1
エチオピア		1	1
ナイジェリア		1	1
2日間 合 計	232	188	420



Nnajofofor P Kelechi (ケイシー) さん

ナイジェリア

2025年 06.21.土

今回のゲストはナイジェリアから3か月前に日本に来たばかりのケイシーさんです。

彼女は韓国や日本の人たちにオンラインによる英語指導を長年されていましたが、4月から堺市の小・中学校でALTをされています。日本にはまだ慣れなくてとまどうことも多いようです。



ナイジェリアはイギリスから独立した多民族国家で、公用語は英語です。宗教は南部のキリスト教と北部のイスラム教に二分されます。

仕事を長く勤めると、「のれん分け」を受ける日本の徒弟制度によく似た制度があるそうです。

手の甲と甲を合わせる握手の仕方があることやヒエラルキーによって衣装が違うことなど、興味深い話を伺いました。

ゲストは英語指導の経験が長く、ゆっくりと分かりやすく話をしてくださいました。また、彼女の優しい人柄が会場を和やかな雰囲気にし、全員が一体となって参加し楽しいCAFEでした。

(松端良之)



ケイシーさん



Pethina Dube (ティナ) さん

ジンバブエ

2025年 07.19.土

ティナさんはアフリカ・ジンバブエ出身で岸和田市の幼、小、中学校でALTの先生をなさっています。そして、岸和田市の隣の貝塚市でも英会話を教えています。

今日、彼女は「皆さんはジンバブエという国をご存じですか？」と始められましたが、貝塚英語クラブの私にとってジンバブエは既に隣町のように親しい国で、隣国のザンビア、南アフリカ、ボツワナは岸和田にとっての泉大津や泉佐野や阪南市のように身近な国になっています。



彼女は幼稚園児や中学生たちに英語を教えるように、私たちのようなレベルにちょうど適した話し方で話してくれます。

今日のEOCでもゆっくりと噛んで含めるように、納得のゆくまでジンバブエの生活を語ってくれ、どんなふうに彼らが10日も



ティナさん

続くクリスマス料理を味わうか、皆さん大いに納得できたことと思います。

今日のプレゼンはとても評判が良かったようで、11月か12月にも彼女の講演にアンコールがかかっているようです。

(金児 尚)



Brent Nielsen (ニールセン) さん

アメリカ合衆国

2025年 08.16.土

アメリカ合衆国出身のブレント・ニールセンさんは、多彩な経歴を持ち、コンサルタントやビジネス英語の講師として活躍されています。

オレゴン州の上院議員の側近としての経験や、家業の工場での修行、そして自身の人生における数々の変化を乗り越えてきた経験を活かし、2023年には『The Joy Cycle』という本を出版されました。

この本には、人生の変化にどう向き合い、どう乗り越えていくかが書かれており、「Love (愛)」「Joy (喜び)」「Gratitude (感謝)」の気持ちを持つことで、前向きに生きる方法が紹介されています。中を見てみると、やさしい英語で書かれていて、英語学習者にもおすすめの一冊だと感じました。



ニールセンさんの著書「The Joy Cycle (2023)」

後半の質疑応答では、アメリカ人のファイナンスに対する意識や、抱えている問題などについて話してくださいました。

また、アメリカでの生活を経験した日本人の奥様のお話もとても参考になり、異文化理解の面でも学びの多い時間となりました。(大倉澄子)



ニールセンさん



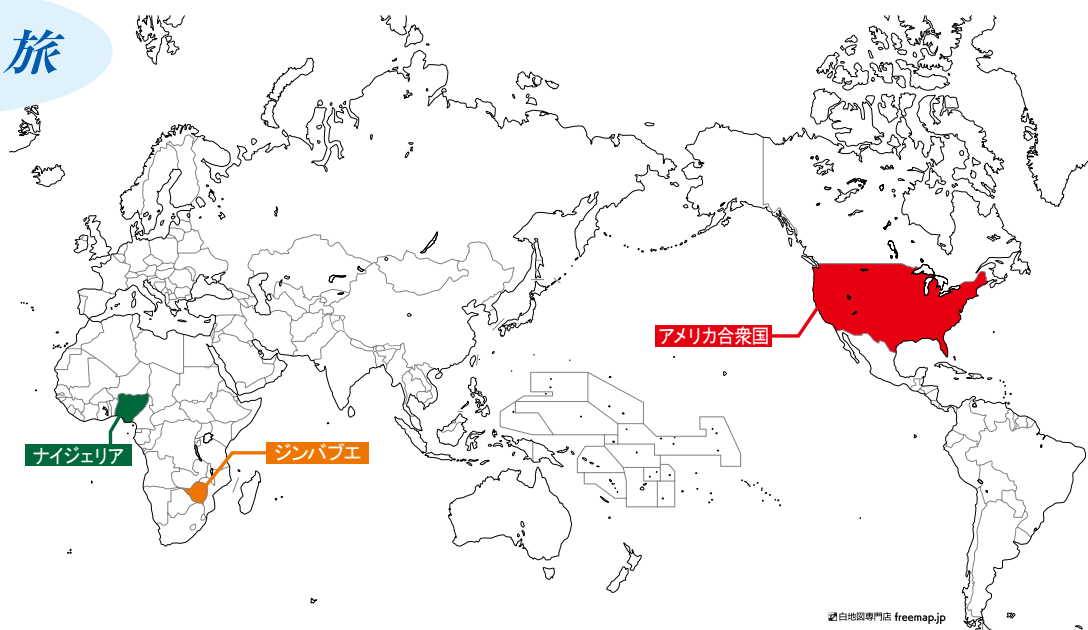
ニールセンさんと、EOC参加の皆さん

にゅ〜とぴあ 145 便

今号で登場・ご紹介いただいた皆さんのお国を紹介します。

毎号、日本・岸和田市と世界の国々をつなぐ架け橋として交流を深めてまいります。

世界の旅



空白地図専門店 freemap.jp



防災体験と四天王寺骨董市ツアー

地球どんぶりでは日本語サロンの皆さんと防災体験と四天王寺骨董市ツアーを開催しました。当日参加された方から、体験感想記をいただきましたので、そのまま掲載します。



防災センター体験の感想

桑田 幸子

2025年6月22日に日本語サロンの先生方の主催で「私たち生徒が阿倍野防災センターに体験に行きました。目的地に着くと、最初の少しの興奮から少し緊張して最後にはとても恐怖を感じました。

最初火災と煙の体験のは少し興奮しました。その後津波と地震を体験した後、私たち人間は自然災害の前では、いさく弱いものだと感じています。

津波を体験する際、5mに達した時、まず心に湧き上がったのは言葉にできないほどの震撼でありました。その巨大な体積と雄大な勢いは、人に自然の力の抵抗できないことを実感させました。この震撼はすぐに深い恐怖に変わりました。人間はこのような災害の前には無力であり、生命を飲み込んでしまう可能性があることに気づいたからです。同時に生命の脆弱さと貴重さを深く認識し、生命はいつでも消えるかもしれないことを理解しました。

だから、私たちは今の毎日を大切にして、私たちの家族を愛して、私たちの仕事や~~生活~~まわりのこともしっかりして、もうこまごまとした事のために悩まされ、心の中で生活の中すばらしさを感じます。

このような意義深い体験活動に参加させていただいた日本語サロンの先生達に、心から感謝します。



地震の体験



消化活動の体験



避難の体験



フォトサロン ~箕土路サロン~

夏まつり! みんなで、うちわ作ろう!!



みんな上手にできました!



ホームビジット

バングラデシュとエジプトからの訪問者

2025年8月9日、東田邸でのホームビジットの受入の体験をさせていただきました。関西国際センターの日本語学習者訪日研修(大学生・大学院生)のバングラデシュの男性ミットさんとエジプトの女性ハビさんがゲストとして来られました。

お昼ご飯は焼きそば、お好み焼き、たこ焼きと聞いて、ムスリムの方ではないと思ったのですがやはりぶた肉はNGで、それでも海鮮ですと聞いて材料を変えれば大阪の定番の食事と一緒に楽しめるのだなと勉強になりました。しかも少しずつ味わってもらおうと言うことで全ての料理をしました。私自身、焼きそば、お好み焼き、たこ焼きを同時に作って食べたのは初めてでした。

スーパーで一緒に買い物して、材料を切るところから作って食べたので最初会った時は緊張していましたが、すぐに溶け込んで楽しく食事をすることができました。

その後は岸和田の有名な場所へ行ってみたいと言うことで岸和田城とだんじり会館へ行きました。

彼ら自身今回の研修で大阪城へは行ったことがあるようでしたが、岸和田城はすごく静かで落ち着いて見学することができたので大阪城とは違った良さがあると言ってくれました。



だんじり会館では岸和田の祭りを知らなかったみたいですが興味を持って楽しんでもらえたので次回はぜひ祭りの日に遊びに来てくださいねと岸和田の魅力を伝えることができました。

ミットさんもハビさんも日本語が上手で、日本のアニメや文化に興味を持ったことから日本語を学習し始めたそうです。将来は日本語教師や日本での外交官など日本語に携わる仕事をしたいそうです。ますますのご活躍を楽しみにしたいです。

(畠中智子)

世界の民族衣装



インド編

* 関西国際センターの研修生のインド出身のゴゴさんが、民族衣装の事を日本語で説明してくれました。(原文のまま掲載します)

私の州の出身地の伝統的な服に興味があって本当にうれしいです。

私はマニプルという州から来ました。インドの東北にあります。マニプルには色んな人が住んでいるの



で文化も宗教もたくさんあります。メイテイ (meitei) と、ナガ (naga) と、クキ (kuki) と、パンガル (pangal) (マニプルのイスラム教徒) はマニプルの民族です。この民族の中にも違う言語と文化がありますが、みんなはだいたいマニプリ語を使っています。ヒンディー語は学校で勉強していますが、州の中ではあまり使っていません。



私が修了式の時に着た服はメイテイの伝統的な服です。この服についてご説明します。このショールはラニ・フィ (rani-phi) と言います。それはシルク製 (made of silk) です。そのスカートみたいな服はファネク (phanek) と言います。ファネクにも色

んな種類があります。私が着たファネクはマパナイバ (mapanaiba) です。このような服はほとんど大きなイベントに着ます。例えば、結婚式の時お客さんが着ます。そして、他の文化イベントにも着ます。

これでこの服について少し理解することができます。その他何が知りたいことがあれば、ぜひお知らせください。ゴゴ(インド)

ゆかたをきて、
夏まつりにいきましよう。

久米田池へ花火観覧に

2025年 7月26日(土)

コンゴ、エリトリア、ナイジェリア、スーダン、フィリピン、中国など出身の日本語サロン生が浴衣を着ます。KIMONOクラブが準備してくれた浴衣を着せてもらえば、みんなはもう笑顔いっぱい。今年は外国人が32名参加。内26名が浴衣を着ました。



花火会場の久米田池夜景をバックに

打ち上げ花火の会場の久米田池まで、慣れない草履や下駄で歩きます。

いよいよ花火の打ち上げの時です。池の対岸から打ち上げられる花火は、池の水面にも映し出され、最高の時となりました。

今年は、岸和田市の小学校や中学校、産業高校で英語を教えているサロン生も参加、会場では普段英語を教えてくれている先生の浴衣姿を見つけた生徒たちから「〇〇先生、かっこいい!」の声。こんなところでも国際親善。

浴衣姿で打ち上げ花火を見た経験は、きっと日本の良い思い出になったことでしょう。

(事業部会 内田満弥)



みんな着付けが出来ました!

Informations

■ふれあい交流祭り

関西国際センターで日本語を学ぶ外交官等の研修生と交流する祭りです。当協会のブースでは「私の漢字(色紙に一文字)」を行います。

(と き) 11月23日(祝・日) 13:00~16:00

(スタッフは12:30~16:30)

(ところ) 関西国際センター(泉南郡田尻町りんくうポート北3-14)

*できるだけ電車・バスをご利用ください

(スタッフ募集) 15名(先着順)

■サウスサンフランシスコ市訪問

(と き) 2026年5月中旬 6泊8日*旅費など詳しくはチラシをご覧ください

■English Open Café

各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき、交流を図ります。

(と き) 9月以外の第3土曜日 13:30~15:30

(ところ) マドカホール 3階 視聴覚室

(費用) 無料

(定員) 30名(先着順)

*全て当協会事務局へお申込みください。